

グローバルCOE特別セミナー

“ 薬・食 相互作用 ”

日時：平成24年2月10日(金)15:30～17:00

場所：静岡県立大学 はばたき棟3階 第3会議室

対象：大学院生、学部生、教職員

演題：食品と医薬品の相互作用とその二面性

講師：荻原 琢男 教授

(高崎健康福祉大学 薬学部薬学科薬理学系、生物薬剤学)

食品やサプリメントの中には、医薬品の生体内動態に影響を与えるものが少なくない。例えば、グレープフルーツジュースが医薬品の消化管からの吸収を高めることや、セイヨウオトギリソウが医薬品の代謝を促進して薬効を減弱させることなどが知られている。

我々はオセルタミビル(商品名:タミフル)の脳内移行性を検討する過程で、この薬物の吸収がミルクによって著しく阻害されることを見出し、この機序が消化管に発現するペプチドトランスポーターの競合阻害であることを明らかにした。このように、医薬品と食品の相互作用は、医薬品の適正使用に対して障害となることが多いが、このことは逆に相互作用を活用することが可能であることを示唆している。

本講演では、我々の検討結果に基づき、キノコ由来のサプリメントが抗がん薬の生体内動態を改善する例や、海藻由来のサプリメントがストロンチウムやセシウムの吸収を抑制する例も合わせて紹介する。

多数のご参加をお待ちしています。

連絡先：グローバルCOE事業推進担当者、薬学研究科薬物動態学講座
山田静雄

Tel: 054-264-5631, fax: 054-264-5635